

第6回嘉麻市こども施策審議会 会議録

1. 審議会等の名称 第6回嘉麻市こども施策審議会
2. 開催日時 令和6年11月27日(水) 18:57~19:50
3. 開催場所 嘉麻市碓井総合支所2階 第4会議室
4. 公開又は非公開 公開
5. 非公開の理由(会議を非公開とした場合のみ)
6. 出席者
 - (1) 委員
会長：垂見 直樹 副会長：安藤 裕子
石井 直彦、深見 隆行、石場 広規、松尾 正和 春口 勇介、榎井 由里子、
篠崎 眞由美、土屋 亜樹、大内田 由香、田中 真弓
(欠席委員：なし)
 - (2) 執行機関
子育て支援課 課長 永島 祐樹 課長補佐 山口 宏彰
家庭・教育相談支援係長 橋本 多恵
家庭・教育相談支援係 柴田 きよみ
こども育成課 課長 廣谷 友紀 課長補佐 山本 和代
課長補佐 洞ノ上 敦 保育総務係長 内山 優子
 - (3) 調査協力機関
Next-i 株式会社 九州支店 大西 美樹
7. 傍聴人数(会議を公開した場合のみ) 0人
8. 議題及び審議の内容
【次第】
 1. 会長あいさつ
 2. 議事
 - (1) 嘉麻市こども計画素案(第4・5章)について【資料17・19・20】
 - (2) 嘉麻市こども計画素案(目次、第1・2・3・6章)について【資料19】
 - (3) こどもの意見アンケート集計結果について【資料21】
 - (4) その他
 3. 閉会
9. 議事
 - (1) 嘉麻市こども計画素案(第4・5章)について【資料17・19・20】
(事務局より説明)
 - 会長

ご意見ご質問等ありませんか。

○ 委員

第5章、2教育・保育の量の見込みと提供体制の確保ですが、これを読みますと、確保ができていると思う。逆に今保育園、それから幼稚園にしてもそうなんだけど、人口減少地域、過疎地域についてはどうなのかということが国の方でもかなり議論をされてるのかなと思う。確かにこうすれば確保できているよということではあるんですが、その本体である保育園とか幼稚園がもう閉園しますよって言うと、とんでもないことになってしまうわけで、その辺の言及を一言ぐらいは入れておかなくていいのかなとちょっと心配はしてると思います。

○ 事務局

今現状の人数、見込み評価になっておまして、石井委員さんおっしゃられたように、5年間の計画となっており、中間見直しもございますので、今の段階ではこの数字で上げさせていただければと思う。県の方とも調整いたしまして、この数字を上げさせていただいております。

今後、幼稚園の閉園とか、保育園、認定こども園に移行するとか、色々情報等は事前にいただいておりますので、ある程度見越した段階の数字で使わせていただいております。ただ実際、子どもの数というよりも本当に施設が減ってしまったら、確保が全然変わってきますので、そこは市内の施設の先生方と情報を共有しながら、中間見直しで毎年県の方に報告いたしますので、見直しをさせていただきたいと思っております。ただ今の段階の数字はこういうところでご了承いただければと思っております。

○ 会長

P60、61、就学前教育という言葉が使われているんですけども、こども大綱を作られるときに関わられたのは東大にいた秋田先生という方が就学前教育という言葉を使わせないようにしましたみたいなことおっしゃっていて、今こども大綱の中では幼児教育保育というふうに表現されている。多分、学校に行く前の準備みたいなニュアンスが含まれるというような趣旨だったと認識しているんですけど、この辺り、もし変更可能ならこども大綱の表現に合わせて幼児教育保育というふうにした方が、自然かなと思いました。

○ 事務局

国のほうで幼児教育保育という言葉に変えましょうという理由をもしよろしければ、ご存知でしたら教えていただけたらと思う。

○ 会長

学校の準備であるというようなニュアンスで受け取られるっていうことで認識していますが、もう少し調べてまたお伝えできればというふうに思います。

第4、5章に関して、流れでいくとこの内容でパブリックコメントということだったと思いますが、今の幼児教育保育の部分を検討いただいて、その他はよろしいでしょうか。

もしご意見等なければそういう流れで進んでいければと思っております。

○ 事務局

事務局でも調べたいと思います。

(2) 嘉麻市こども計画素案（目次、第1・2・3・6章）について【資料19】

（事務局より説明）

○ 事務局

今回の協議会は12月18日、次々回は1月。

パブリックコメントは1月14日から2月14日。

○ 会長

ご意見ご質問等ありませんか。

ないようでしたら、お忙しいかと思いますが、2週間余りしか時間がありませんけれども、少し目を通していただいて、またご意見を事務局の方にお送りいただければと思います。

(3) こどもの意見アンケート集計結果について【資料21】

（事務局より説明）

○ 会長

委員の皆様から何かございませんでしょうか。

このアンケート結果をどのように計画に反映できるのかできないのかということも含めて大変難しい課題ではあると思うわけですが、今のところコラムのような形でこの結果を紹介するというアイデアというようなところですかね。

○ 事務局

はい、一応そういった形で計画書の方は考えております。また回答いただきました児童生徒の皆様にもフィードバックをしないといけないなと思っておりますので、取りまとめまして、また学校の方にも送らせていただこうかなと思っております。

○ 会長

こうしたアンケートは、もうこのときだけなのか、今後定期的にされるのかというようなことについては何か、つまりその計画に具体的にその子どもが意見する、それを反映するとなかなか難しいかもしれないけれども、例えば定期的にアンケートを取って、子どもたちの満足度みたいなものを、例えば評価指標に入れるとか、具体的な計画に対する子どもの意見を間接的に反映するようなことになるのかなというふうに思った。

○ 事務局

今回は子どもたちの意見ということでアンケートをとらせていただいて、計画の方に反映させたいということで取り組んだが、今後についてはまだ内部で協議できていない。個人的には今後、子どもたちの意見というのは、この計画に限らず、施策には反映させていかない

といけないという国全体の流れになっているのかなと思っておりますので、極力そういった子どもたちの意見をアンケート形式、ヒアリング、そういった手法で今後考えていかないといいけないとは思っている。子どもたちの意見は取っていききたいと、私個人としては思っている。

○ 委員

意見聴取の関係の質問。基本的な計画の考え方の中で、子どもの声を聞く、それをフィードバックして施策に反映していくと。国の大綱には7割ぐらいが子どもの意見を聞いたって感想を持っていく基本計画になっていたのではないかと思う。そうすると基本理念とかに子どもの意見を聞いていくという姿勢、そういう部分を記載する形じゃなくても、子どもたちが参加するところを聞いていくという話等、実際の事業とかは記載があるが、基本的な考え方の中にないような気がする。聞き方等難しい部分はあると思うが、施策の対象のお子さんたちに直接いろいろ聞いていかないといいけないという条例ができたり、という流れになるんじゃないかと思う。そうなった場合の考え方を基本理念の中、基本的な考え方の中に入れた方がいいのかなと考えた。

○ 事務局

委員の言われる通り。子どもの意見の反映については第4章の最初に明記している。基本理念というところは、正直大きいところでの子どもたちの夢を持って幸せに暮らしていこうというところが大きくあるのかなと。その中の細かい部分で子どもたちの意見を聞いていこう、聴取していこうと計画の方は考えているところです。

○ 会長

P29、子どもの意見表明ができる取り組みというところでは高校生議会の話しか触れられていない、そういう目で見るとやっぱりこれだけなのかなというふうに受け取られかねない部分もあるのかもしれないなと思った。具体的に今すぐ何か決まらなくても、例えば今後学校教育現場との連携に基づいて定期的に聴取する仕組み、意見表明の機会を確保する取り組みを積極的に行っていくみたいな、少し前向きな表現の記載があってもいいのかなというふうに少し感じました。

○ 事務局

主な事業については、現在行っている事業という形で明記させていただいている。今後の取り組みに明記しているとおりの、仕組み作りを今後検討していきたいと考えているところです。

○ 委員

資料21の中で、いわゆる皆さんの意見を聞かせてくださいというアンケートが出ましたよということについては、何らかの公表なり発表なり子どもたちの目に届くところに持っていくのですか。

○ 事務局

児童生徒の皆さん、アンケートに答えたのに、反映しないと何の意味もないんじゃないかというふうになってしまいますので、アンケートをまとめまして、児童生徒の皆さんにフィードバック、お返ししようかなと思っております。

○ 委員

子どもたちも自分が答えたアンケートの結果がどうだったのかと興味を持って見てくれると思うので、それをもとに、高校生会議等を開いて行って、具体的にどんな嘉麻市になってほしいのかとか、将来の夢って何なのかという問いかけができるような場面を作ってあげた方が、それが施策に一番生きてくるんだろうなと思う。その辺りもどこかで感じさせておくという意味があるのでは。自分たちの意見も聞いてくれるのだということにも繋がっていくのかなと思うので、何らかの仕掛けをぜひやってほしいと思う。

○ 事務局

貴重なご意見だと思います。仕組み作り、何らかの仕掛けというところを検討したいと思います。

(4) その他

○ 事務局

市ではペーパーレスの取り組みを行っている。その取り組みの一つとして郵送をメール化するものがある。作業時間短縮、経費節約、事務の見直し。嘉麻市は財政難。趣旨をご理解いただきみなさんが賛同していただけるのであれば今後の連絡はメールで行いたい。重要な紙の資料等は郵送する。協力願いたい。

○ 委員

アドレスの登録等はするのか。

○ 事務局

皆さんに賛成していただければ、紙を配らせてもらって記入していただきたい。

○ 会長

そのような方向でよろしいでしょうか。

(同意)

今日の会議全体を通して何かご意見ご質問等ありましたらお願いします。

○ 委員

アンケートを纏めていただきありがとうございます。中学校キャリア教育というところで、例えば一度小学校で行ってきて、さらに中学校1年生で地域学習、地域のよさとか、そういうところを今取り組んでいます。2年生では夢事業、いろんな方の職場、職業の方を見てい

ただ、自分の職業観、そういうところをもって、3年生では進路を開いていくというイメージで取り組んでいっています。このキャリア教育を中学校として進めていく中で、中学3年生がまだあまり夢を持っていない。やっぱりそういうところに学校教育を進めていかななくてはならない課題があるなと思って協議させていただきました。

○ 事務局

今回は12月18日(水)19時から。新年初めにもう一度審議会。会長、副会長と日程調整する。

○ 会長

12月12日までに今日お示しいただいた素案について積極的に意見をいただければと思います。

10. 閉会

11. 配布資料

- ・ 会議次第
- ・ 資料19 嘉麻市こども計画素案(令和6年11月27日時点)
- ・ 資料20 計画素案委員意見書
- ・ 資料21 アンケート調査結果(グラフ全集計版)